

大切な地域や 市民を守る

日夜奮闘する牧之原市消防団



静岡県消防操法大会

第33回静岡県消防操法大会が9月11日、県消防学校（静岡市清水区）で開催されました。

榛原支部の代表として、「ポンプ車操法の部」には、第四分団（牧之原区）、第五分団（勝間田区）、小型ポンプ操法の部」には、第十分団（地頭方地区）が出場。日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、「ポンプ車操法の部」で優勝を勝ち取ることができました。「小型ポンプ操法の部」では惜しくも入賞は逃しましたが、大いに奮闘し、最高のチームワークを見せてくれました。今後は、訓練を通じて得た技術や経験を生かし、日ごろの団活動に一層励んでいきます。



①「ポンプ車操法の部」で優勝した第4・5分団の操法。競技開始後、加藤3番員と鈴木4番員がポンプ車から吸管を取り出し、迅速に操法を行う②「小型ポンプ操法の部」で第十分団が競技を開始。鈴木副団長に山崎指揮者が操法開始を伝え、約10分間の競技が始まる③小型ポンプ操法で標的の火点に向けて、勢いよく放水する鈴木1番員

県総合防災訓練

静岡県総合防災訓練が8月28日に市内各所で実施されました。

細江小学校、旧細江保育園、細江コミュニティセンターでの各訓練に合計229人の団員が参加。細江小学校では、災害救助犬による行方不明者の救出訓練の支援や、吉田榛原消防署による資機材を使用する要救助者の救出方法の講習などを受けました。

旧細江保育園では、倒壊家屋から陸上自衛隊員により救出された負傷者を、救助所である細江コミュニティセンターへ搬送する訓練を行いました。細江コミュニティセンターでは、倒壊家屋から陸上自衛隊員などの協力の下、傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定するトリアージ訓練に参加し患者の搬送、軽傷者の応急手当の講習を受けました。これらのさまざまな訓練で得た経験を今後の消防団活動や災害発生時の行動に生かしていきたいと思えます。



①細江小学校での災害救助犬による救出訓練を視察する団員ら②自衛隊員から救出した負傷者を引き受け、救助所へ搬送する。災害時には冷静な判断と迅速な行動が求められる③災害救助犬が発見した行方不明者を団員がれきを除去し、救出する④旧細江保育園でのトリアージ訓練の様子。災害時の医療現場は瞬時の判断が不可欠であり、医師などによる迅速、的確な判定で傷病者が区別される

応急救命勉強会

10月9日、第六分団主催の応急救命勉強会が川崎コミュニティ防災センターで開催されました。同分団に在籍する応急救命普及員の指導の下、応急救命に関心がある他分団の団員約20人が参加しました。勉強会では、マネキンを用いた人工呼吸や心臓マッサージのほかに、AEDの使用法も確認しました。



応急救命普及員の指導を受ける団員たち

サージのほか、AEDの使用法など実践的な訓練を行い、消防団員が最低限把握すべき応急救命の知識を習得。参加者は、本番さながらの真剣なまなざしで入念に手順などを確認していました。災害時などに、少しでも市民の力になれるよう、団員一同力を合わせて頑張っていきます。



入念にAEDの使用法を確認する

夜警巡視

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。消防団では夜警巡視を12月から2月末ごろまで行い、火災の発生予防、早期発見に努めています。ご協力をお願いします。（期間や時間は地域により異なります）

新春出初め式

平成24年牧之原市消防団出初め式を開催します。団員たちの日ごろの訓練の成果をぜひご覧ください。日時 平成24年1月8日 日 式典 午後1時、操法披露 午後2時、会場 相良中学校体育館およびグラウンド

団員募集

私たちは災害時に役立つ訓練を日々行っています。消防団では、地域を守るために活動したい人を募集しています。入団希望の人は、地元分団または、市役所防災課まで連絡ください。一緒に市民の安全・安心を守りましょう。

新入団員からのメッセージ



第1分団（静波） 松浦 翔 団員

消防団で先輩団員やOBの人たちとふれあうことができ、地域活動にも大変役に立っています。訓練など大変ですが、市民を守っていることにやりがいと誇りを感じています。

分団からひとこと

私たちは第九分団は総勢38人の分団員が所属し、菅山・大沢区を担当しています。分団には、自動車ポンプ可搬積載車が1台配備され、消防団活動を行っています。

第九分団（菅山・大沢区）

責任を持って消防団活動に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

第九分団長 寺尾 宏



市消防団広報は、年に1回本紙で掲載しています。